

## 新型コロナウイルスワクチン接種について

各地域において、新型コロナウイルスワクチン接種開始に向けた準備が始まっております。皆様におかれましては、ワクチン接種の可否について主治医に相談されたい向きもあろうかと思えます。

特に予診票の項目に心臓病、肝臓病、血液疾患、血が止まりにくい病気、免疫不全などで治療中の方や、血液をサラサラにする薬を服用している方は、医師から接種してよいと言われたかを確認する項目があるため、ご心配している方もいらっしゃるかもしれません。

これは、これらの疾患をお持ちの方や薬を服用されている方に対して新型コロナウイルスワクチンの接種が禁止されているという意味ではありません。

新型コロナウイルスワクチンで懸念される「アナフィラキシー」と呼ばれるアレルギー反応は、ワクチンの効果を高めるためにワクチン内に混ぜられた化学物質が主な原因と考えられています。このため前述の疾患や服薬によって禁忌（接種してはいけない）となる状況は起こりにくく、当院受診中の患者さまにおかれましては、特別な個人の事情がない限り、新型コロナワクチンを受けて頂いて問題ないと考えられます。

なお、接種前に医師に相談して頂きたいのは以下の方々です。

- 重い急性疾患にかかっている方
- ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴のある方
- ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方
- 以下の免疫抑制剤を使用中・最近使用した方  
メトトレキサート（リウマトレックス）、JAK 阻害薬（ゼルヤンツ、オルミエント、リンヴォックス）、アバタセプト（オレンシア）、シクロホスファミド（エンドトキサン）、リツキシマブ（リツキサン）
- 新型コロナワクチン接種にあたって心配事があり医師に相談したい方

他詳細は厚生労働省、新型コロナワクチン Q&A のサイト

(<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>) を参考にしてください。

## 新型コロナワクチン接種後の副反応について

副反応とは、ワクチン接種後に発熱や接種部位の腫れ・痛み、倦怠感など様々な症状が現れることです。人によってはとてもつらく感じられる副作用ですが、症状がずっと続くことは希で、そのほとんどは2~3日程度で回復します。また、新型コロナウイルスワクチンの中には、新型コロナウイルスそのものは入っていませんので、ワクチン接種によってCOVID-19に罹患することはありません。

1回目接種後に副反応として、強いアレルギー反応（アナフラキシーとして加療が必要な状態など）があった方は、2回目の接種を控えたほうが良いとされていますが、それ以外のある程度の副反応は、ワクチンによって身体の免疫機能が正常に働こうとしていることを示す反応ですので、その効果を確実なものとするためにも、2回目の接種を正しい間隔で（21日空けて）接種してください。

ワクチン接種場所は、アレルギー反応（アナフィラキシー）対策も整えられています。決められた接種場所で安全に適切な接種間隔で、2回目のワクチン接種をお受けになってください。